

取組の概要

- 計画作成主体：日南町農業再生協議会
 対象品目：施設野菜（トマト）
 （産地面積 5.8ha）
 主な取組主体：鳥取西部農業協同組合
 成果目標：販売額の10%以上の増加
 基準（H29年度）175,075千円
 目標（R3年度）194,463千円
 導入施設等：生産支援事業
 （パイプ、被覆資材費等）

鳥取県
日野郡日南町



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

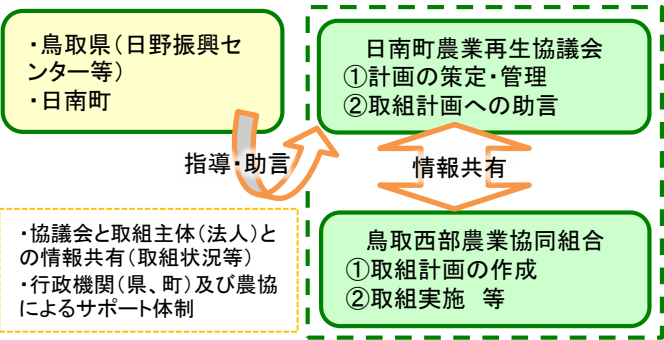
日南町のトマトは、高齢化に伴う生産者の減少や労働力の低下によって栽培面積、販売額が減少傾向にあったが、Uターン者を中心とした若手のトマト生産者が増加するとともに、平成26年度に策定した「旨い果菜の里づくりプラン」による直売所、ハウス団地、リースハウスの整備、新品種・技術実証、販売促進活動等に対する支援によって、県内随一の夏秋トマト産地の維持が図られている。

平成27年には、地域団体商標「日南トマト」を取得したところであり、今後、産地パワーアップ事業等の活用により鳥取型低コストハウスの導入を進め、地域全体の販売額の増加と所得の向上、産地の維持・拡大とブランド化を推進する。

【産地の体質強化に向けた方策】施設野菜(トマト)産地の形成の推進

- ①鳥取型低コストハウスの導入を支援することで栽培面積を拡大し、産地力の強化とブランド化を推進する。
 - ②栽培技術の確立により収量性の向上を図る。
- 以上により、販売額10%以上の増加を実現する。

推進体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・単県事業「がんばる地域プラン事業」により、生産部、JA鳥取西部、町、県等の関係者が一体となって、新技術実証、販売促進活動、老朽化ハウス補強等の取組を実施。

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ・鳥取型低コストハウスの導入が進むことで栽培面積が増加し、トマト産地の維持・拡大が図られる。

【事業実施による間接効果】

- ・日南トマトブランドが浸透する。また、Uターンによる新規トマト栽培農家の増加に加え、高品質トマトの生産量も増加し、市場評価の向上と市場拡大により、地域全体の販売額の増加と所得の向上が期待される。



販売額が増加

～トマトの総販売額～

